

あなたの家は
大丈夫!?

大阪府で発生した地震を受けて

改めて地震対策を点検しよう



阪神・淡路大震災の死亡原因は「窒息死・圧死」が約8割

阪神・淡路大震災と同クラス(M7.3)の地震があった場合、狛江市では震度6弱~6強の揺れが想定されています。(「首都直下地震等による東京の被害想定」より)

今回の地震では死者の半数以上が家の中にある家具の下敷きになることで犠牲になっていきます。また、飛んできたテレビが顔にぶつかって負傷したという方もいたようです。大きな地震が発生したらまず身の安全を守ることが鉄則ですが、就寝中などに地震が発生す

1. 死傷者から見る 家庭での対策

平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震によって、多くの被害が発生しました。大阪という「都市部の直下」で発生した地震によって生じた被害は、首都直下地震によって狛江市で生じることが想定される被害と類似することが考えられます。大阪で起きた被害等を参考に、地震対策を再点検しましょう。

と素早く回避することが困難なため、事前の対策が重要です。

点検ポイント

- 家具類の転倒・移動・落下防止(家具の種類や生活タイプに合わせて対策しましょう) ↓ 3ページ: 防災用品のあつせん)
- 家具レイアウトの見直し(家具の下敷きにならない、避難経路をふさがらないように配置)

家具の転倒防止方法はいろいろ!

今回の地震でも、地震発生直後から停電のみならず、水道やガスが停止しました。今回の地震は局地的であったためライフラインの復旧は比較的早く済みましたが、広域的な被害が想定される首都直下地震においては、長期間に渡ってライフラインが停止することが予想されます。東京都では首都直下地震発生後、電気は7日、通信は14日、上下水道が30日、都市ガスは60日程度での復旧を目標に

2. ライフライン停止から見る家庭での対策



しています。次のページで「ライフライン停止時に役に立つアイテム」を紹介しています。

非常時でも 安心レシピ

ポリ袋クッキング

ごはん
肉じゃが

用意するもの
ポリ袋(高密度のもの)
口の広い鍋に、湯を沸かします。

☆ごはん
材料…米、水(米の1.2倍位の量)

☆肉じゃが
材料…じゃが芋、人参、玉葱、焼き鳥缶詰

1. 材料をポリ袋に入れて、空気を抜き、固く口を結ぶ。
2. 鍋に入れて、弱火で30分ほど加熱する。

今回の地震では、地震発生後スーパーやコンビニから商品が消えてしまう、いわゆる「買占め」が発生しました。特に飲料水や食糧品のほか、携帯電話用充電器やカセットコンロ用のガスボンベが無くなってしまったようです。地震が発生した後に物を揃えようとしても入手が困難となること想定されるため、地震発生後に必要なものはあらかじめ備えておきましょう。備蓄を進める際は、通常時の買い物を多めに行い、常に一定の在庫を維持しながら商品を入れ替える「日常備蓄」がおすすめです。

チエック!
発災後を
想像する
「日常備蓄」のすすめ

